

交通事故の予防を！

セーフコミュニティちちぶ

秩父市の人身交通事故件数は、年間200件以上発生し、今年も死亡事故が5件発生しました。

直近4年間の交通事故データを見ると、**追突・出会い頭の事故**が6割を占め、**通勤・通学**の際に**追突事故**を起こすケースが多くなっています。また、**交通事故**が起きる時間帯は、**午後4時から6時、午後6時から8時**と、暗くなる時間帯で多く発生しています。特に事故が多い地域は、**大野原・寺尾・黒谷地区**です。

この結果を検討すると、**通勤や通学の際の追突・出会い頭の事故に注意が必要で、この時間帯における安全運転（時間にとりを持った行動）が最も重要**といえます。

セーフコミュニティ（SC）では、データ結果を基に、**交通事故やそれに伴うケガを予防するための取り組みを研究**しています。SC交通安全対策委員会では、交通安全教室、高齢者宅訪問による啓発活動、街頭キャンペーン、**追突注意看板**の設置などの対策を進めています。が、**取り組みの推進にあたっては、**

市民の皆さんと活動を展開することが効果が表れる上で、重要となります。

市民の皆さんにお願いしたい取り組みは、次のとおりです。

①**通勤・通学の際の安全運転（時間にとりを持った行動）**

②**反射材の着用**

反射材を着用することで、**運転手に自分の位置を知らせ、事故を予防**します。

③**自転車ヘルメットの着用**

事故に遭った際に**頭部を守る**ことで、ケガの重症化を防ぎます。市では、ヘルメット購入に関する助成制度（1人1回、上限2千円）もあります。市報5月号7ページをご確認ください。

実践することは困難かもしれませんが、**重要な取り組みとなりますので、皆さんの協力をお願い**します。

現在SCでは、**優良ドライバーを増やす取り組みを研究**しています。日頃からの交通ルールの遵守にご協力をいただき、**安全運転をお願いします。**

問 危機管理課 ☎ 22-2206

インターナショナルセーフスクール再認証内定！

10月23日・24日に、秩父第二中学校、花の木小学校、南小学校で、**インターナショナルセーフスクール（ISS）再認証取得のための現地審査**が行われました。ISSは、データに基づいた安全・安心な環境づくりを実施している学校に与えられる国際認証です。今回は、平成27年12月認証取得以来の、**再認証申請**になります。

当日は、審査員の**パイル氏（台湾）**が来日し、児童生徒、PTA、教員等が活動報告を行いました。審査の結果、**見事再認証の内定を受けました**。1月号で認証式の様子を掲載します。



秩父第二中学校



花の木小学校



南小学校

問 教育研究所 ☎ 22-2446